

ポリオ鑑別疾患調査の要領

A) 回顧的調査

平成11年1月1日～同年12月31日まで前方視的調査をお願いし、ご報告をいただきました。改めて症例の有無を確認させていただくための調査です。症例の報告や検体送付の有無に関わらずご報告をお願いいたします。

- 1) 調査期間 : 平成11年1月1日～平成11年12月31日
- 2) 対象 : ポリオの鑑別疾患と診断されて入院した15歳以下の患者
- 3) 疾患 : ギランバレー症候群、横断性脊髄炎、その他の急性弛緩性麻痺
(原因ウイルス不明の筋炎、けいれん後麻痺[Toddの麻痺]、など)
- 4) 記入要項 : 同封のポリオ鑑別疾患患者調査票(平成11年)にご記入ください。
選択枝のある項目は、該当するものに○をつけてください。
調査票が不足する場合は、コピーしてください。
- 5) 返送方法 : 同封の返信用封筒またはFAXにて、福岡県保健環境研究所あてに
平成12年1月末日までにご返送ください。
- 6) その他 : 症例がない場合も、「症例なし」としてご返送ください。

B) 平成12年 届出調査(前方視的調査)

平成12年1月1日～同年3月31日までに発症した患者さんの届け出(前方視的調査)です。

- 1) 同封のFAX送信状をご利用ください。
- 2) 患者の診断をされた際は、速やかにご連絡ください。
- 3) 土、日、祝日は対応できませんので、FAXをいれておいてください。
休み明けに担当者からご連絡申しあげます。
- 4) 検体採取と保存は別紙(検体採取要領)に従ってお願いします。

厚生省 我が国におけるポリオ根絶のための
小児急性弛緩性麻痺サーベイランス体制の確立
研究班：福岡地域回路的調査

ポリオ鑑別診断患者調査票（平成11年）

報告機関名・住所		記載者名							
番号	患者イニシャル	発症時年月	性	入院年月日	退院年月日	診断名	病原名 (診断方法)	予後 一般生活に支障	ポリオ ワクチン歴
1		歳 月	男・女	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	①ギランバレー症候群 ②横断性脊髄炎 ③*他:	不明 (血清・ウイルス分離・他)	①軽快 ②後遺症 ③死亡	①0回 ②1回 ③2回以上
2		歳 月	男・女	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	①ギランバレー症候群 ②横断性脊髄炎 ③*他:	不明 (血清・ウイルス分離・他)	①軽快 ②後遺症 ③死亡	①0回 ②1回 ③2回以上
3		歳 月	男・女	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	①ギランバレー症候群 ②横断性脊髄炎 ③*他:	不明 (血清・ウイルス分離・他)	①軽快 ②後遺症 ③死亡	①0回 ②1回 ③2回以上
4		歳 月	男・女	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	①ギランバレー症候群 ②横断性脊髄炎 ③*他:	不明 (血清・ウイルス分離・他)	①軽快 ②後遺症 ③死亡	①0回 ②1回 ③2回以上
5		歳 月	男・女	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	H11年 月 日 H11年 月 日 (H12年1月現在入院中)	①ギランバレー症候群 ②横断性脊髄炎 ③*他:	不明 (血清・ウイルス分離・他)	①軽快 ②後遺症 ③死亡	①0回 ②1回 ③2回以上

調査票送付先：福岡県保健環境研究所 保健科学部 ウイルス課 千々和勝己 *③：急性弛緩性麻痺（病原ウイルスが特定されていない急性ウイルス性筋炎・けいれん後麻痺 [Todd 麻痺] など）

〒818-0135 太宰府市 向佐野 39

TEL: 092-921-9945 FAX: 092-928-1203

検体採取要領

1. 検体採取の対象

ポリオの鑑別疾患と診断された、ギランバレー症候群、横断性脊髄炎、その他の急性弛緩性麻痺の患者で、15歳以下の者を検査の対象とします。

2. 検体及び採取回数

対象患者の糞便約5gを検体とします。検体の採取は、発症からできるだけ早い時期（14日以内が望ましい）に1回目の採取を行い、ウイルスの分離率の向上のため、さらに2～3日以内に2回目の採取を行ってください。

3. 検体の保存

採取した糞便は、各機関で使用されている容器（便カップなど）に入れ、フリーザー内に凍結して保存してください。

4. 検査機関への連絡

患者を診断された際は、速やかに別添のFAX送信状により、福岡県保健環境研究所に連絡してください。

5. 検体の搬送

福岡県保健環境研究所の職員が検体をいただきに伺います。

6. その他

検体採取についての問い合わせ先；

〒818-0135

福岡県太宰府市向佐野39

福岡県保健環境研究所 ウイルス課

千々和 勝己

TEL 092-921-9945

FAX 092-928-1203

< 平成 11 年度福岡県地区資料 5 >

FAX送信状

送信先 福岡県保健環境研究所 保健科学部 ウイルス課 千々和勝己	FAX 番号 092-928-1203
	(TEL 番号 092-921-9945 : 直通)

ポリオ鑑別疾患患者発生届 (平成 11 年)

報告機関	機関名	
	住所	
	TEL FAX	
	担当者	
患者情報	患者イニシャル	
	年齢・性	歳 月 (男・女)
	発症年月日	平成 12 年 月 日
	入院年月日	平成 12 年 月 日
	入院時診断名	
	退院年月日	平成 年 月 日
	最終診断名	
検体情報	第 1 回便採取日	平成 12 年 月 日 - °C 保存 ・ 未採取
	第 2 回便採取日	平成 12 年 月 日 - °C 保存 ・ 未採取
	その他の検体	なし ・ あり (髄液・その他)
備考		

FAX 送信状が不足する場合はコピーしてご利用ください

Ⅲ 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
宮村達男、萩原昭夫	世界ポリオ根絶計画の現状とわが国の役割	日本医事新報	3896	40—46	1998
岡部信彦	中国におけるポリオ対策	感染症と化学療法	4 (3)	39—42	1998
T. Yoneyama, H. Sawada, H. Sekine, A. Sasagawa, M. Futohashi, N. Sakurai, Y. Yokota, T. Ishizaki, Y. Karoji, M. Nakano, K. Kajiwara, A. Hagiwara, and T. Miyamura	Surveillance of poliovirus-isolates in Japan, 1998	Jpn. J. Infect. Dis.	52	19—20	1999
岡部信彦	経皮接種による不活化ポリオワクチン導入の意義	医学のあゆみ	193 (7)	650—651	2000

19990450

これ以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますのでP.43 の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。